

令和3年度

“大雪・富良野ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

| ルート名称:大雪・富良野ルート | | 報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一 | | | | | 報告年月日:2022/3/31 | |
|------------------|-------------------------------------|--|---|--|---|--------------------|---|---|
| ルート(エリア)運営活動計画方針 | ルート(エリア)運営活動計画活動内容 | 令和3年度 | | | | | | 総括 |
| | | 活動名 | 主催 | 活動実施日 | 参加人数 | 活動状況資料番号 | | |
| 景観づくり | 大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ | 沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン | 大雪・富良野ルート | 4月18日 | 主催者20名 一般参加265名 | A - 1 | 昨年度中止となったゴミゼロキャンペーンはコロナ対策を講じたうえで実施した。また100年の木プロジェクトについても継続的に活動を行っている。新たに秀逸な道の景観点検を地域協働で実施しており、今後は秀逸な道と連携した景観保全の取り組みを推進する。 | |
| | | 北海道らしい雄大な景観を美しく見せる | 人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～ | 美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会) | 総会:4月20日(帯広)維持管理・点検:6月3日、10月5日、10月12日 全体会議:11月1日(旭川) | 全体会議約20名 植樹約10名 | | A - 2 |
| | | 大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う | 沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン | 大雪・富良野ルート | 4月18日 | 主催者20名 一般参加265名 | | A - 1 |
| | 波状丘陵地の田園景観を保全する | ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする | かみふらの見晴台情報ステーションでの情報案内 | かみふらの十勝岳観光協会 | 5月～9月 | — | | — |
| | | 大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める | 人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～ | 美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会) | 総会:4月20日(帯広)維持管理・点検:6月3日、10月5日、10月12日 全体会議:11月1日(旭川) | 全体会議約20名 植樹約10名 | | A - 2 |
| | | 秀逸な道 景観点検の実施 | 旭川開発建設部、大雪・富良野ルート運営行政連絡会議 | 10月12日 13:00～16:20 | 約10名 | A - 6 | | |
| | | 田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する | 人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～ | 美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会) | 総会:4月20日(帯広)維持管理・点検:6月3日、10月5日、10月12日 全体会議:11月1日(旭川) | 全体会議約20名 植樹約10名 | | A - 2 |
| | 田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う | — | — | — | — | — | | 100年の木プロジェクトは十勝との連携活動で9年目を迎える。継続的に取り組みが行われており、サインツリーによる美しい景観が創出されている。今後も田園景観の保全に向けて、検討を進める。 |
| | 田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする | — | — | — | — | — | | — |

1. ルート運営活動計画の進捗状況

| ルート名称: 大雪・富良野ルート | | 報告者: ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一 | | | | | 報告年月日: 2022/3/31 | |
|------------------|--------------------------------|---|--|--|----------------------|----------|--|--|
| ルート(エリア)運営活動計画方針 | ルート(エリア)運営活動計画活動内容 | 令和3年度 | | | | | | 総括 |
| | | 活動名 | 主催 | 活動実施日 | 参加人数 | 活動状況資料番号 | | |
| 花人街道としての景観を整える | 地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う | - | - | - | - | - | - | ルートのサブテーマは「四季を彩る花人街道」としており、改めてルート内のおもてなしとしての花の食材やサインツリーの維持管理を継続して実施する。 |
| | 沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う | 人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト ～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～ | 美しい北海道景観を育てる会(大雪・富良野ルート、十勝平野山麓ルート、トカプチ雄大空間、南十勝夢街道、ガーデン街道協議会) | 総会: 4月20日(帯広)維持管理・点検: 6月3日、10月5日、10月12日 全体会議: 11月1日(旭川) | 全体会議約20名 植樹約10名 | A - 2 | | |
| | 花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する | - | - | - | - | - | | |
| | 沿道の景観阻害要因に対するの修景計画の策定を行う | - | - | - | - | - | | |
| | 森林景観を保全するための活動計画の策定を行う | - | - | - | - | - | | |
| 活力ある地域づくり | ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る | 情報拠点の運営 | かみふらの十勝岳観光協会 | 5月～9月 | - | - | これまでの取り組みは継続しながら、新たにYoutubeによる動画の配信をスタートした。今後もシーニックの認知度向上・普及に向けて、PRの充実を図る。 | |
| | | - | - | - | - | | | |
| | 地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る | 地域情報ペーパーの作成・配布 | 大雪・富良野ルートサポートセンター、上川中南部道の駅連携会議、旭川開発建設部 | 通年 | ルート内情報拠点1箇所、上川道の駅6箇所 | - | | |
| | 地域住民参加への活動を強化する | 沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン | 大雪・富良野ルート | 4月18日 | 主催者20名 一般参加265名 | A - 1 | | |
| | | 情報拠点での地域情報発信 | かみふらの十勝岳観光協会 | 5月～9月 | - | - | | |
| | | 「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展 | 大雪・富良野ルートルート運営行政連絡会議 | 旭川地方合同庁舎アトリウム 10月20日～11月2日 旭川空港 7月20日～8月16日、1月6日～1月20日 | - | A - 4 | | |
| 秀逸な道等に関する情報発信 | 大雪・富良野ルート | 通年 | - | A - 5 | | | | |

1. ルート運営活動計画の進捗状況

| ルート名称:大雪・富良野ルート | | 報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一 | | | | | 報告年月日:2022/3/31 | |
|-----------------------------|---|-------------------------|-----------------------|-------------------------------|--------------------|--------------------|---|---|
| | ルート(エリア)運営活動計画方針 | ルート(エリア)運営活動計画活動内容 | 令和3年度 | | | | | 総括 |
| | | | 活動名 | 主催 | 活動実施日 | 参加人数 | 活動状況資料番号 | |
| 地域づくり | コリドーとしての連携や参加意識の醸成 | シーニックの活動に対する地域連携意識を醸成する | 沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン | 大雪・富良野ルート | 4月18日 | 主催者20名 一般参加265名 | A - 1 | ゴミゼロキャンペーンを2年ぶりに開催し、多くの方に参加いただいた。今後は連携強化や参加意識醸成に繋がる活動を見直し、展開していく。 |
| | | | - | - | - | - | | |
| | | | - | - | - | - | | |
| 農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり | 安全な地域農産物の魅力を情報として発信する 農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する 地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める 多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う | 沿道の清掃活動 ゴミゼロキャンペーン | 大雪・富良野ルート | 4月18日 | 主催者20名 一般参加265名 | A - 1 | ルートを特徴づける景観の多くは農業景観のため、農業と観光の接点を強化し、相乗的に活性化する方策を模索している。見晴台公園は直売施設を併設し、週末に直売を行っていたが、令和2年度は新型コロナの影響で活動できなかった。 | |
| | | シーニック情報拠点「見晴台公園」にて野菜を直売 | かみふらの十勝岳観光協会 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止となった。 | | | | |
| | | | - | - | - | | | |
| | | | - | - | - | | | |
| 地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進 | 大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める 自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する 歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る 地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する | 旭岳の管理・自然保護対策 | NPO法人大雪山自然学校 | 5月～11月 | | | 大雪山自然学校が実施している自然教育や活動に関するノウハウをルート全体で共有し、活動の強化を図る。 | |
| | | | - | - | - | | | |
| | | | - | - | - | | | |
| | | | - | - | - | | | |
| ユニバーサルデザインの推進 | シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う 地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う | | - | - | - | | これまで実施したきた取組みについて整理し、これまでのノウハウを踏まえ、ルート全体への展開を検討する。 | |
| | | | - | - | - | | | |

1. ルート運営活動計画の進捗状況

| ルート名称:大雪・富良野ルート | | 報告者:ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一 | | | | | 報告年月日:2022/3/31 | |
|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------------|---|------------|-----------------------|-----------------|--|
| ルート(エリア)運営活動計画方針 | ルート(エリア)運営活動計画活動内容 | 令和3年度 | | | | | | 総括 |
| | | 活動名 | 主催 | 活動実施日 | 参加人数 | 活動状況資料番号 | | |
| 観光振興 | 田園型リラクゼーション観光の充実 | 田園型リラクゼーション観光を充実させる | — | — | — | — | | 美瑛・富良野で実施しているサイクルツーリズムの取組などと連携を図り、田園風景や食などルートらしいツーリズムについて推進する。 |
| | | 大雪ぐるっとサイクリングウェブサイトの運営 | 大雪・富良野ルートサポートセンター | 5月～11月 | 主催者約10名 | | | |
| | | もてなしのシーニックバイウェイを充実させる | | | | | | |
| | 農業と連携した観光のしくみづくり | 来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する | — | — | — | — | | 農業と連携した観光の仕組みづくりについて、アフターコロナに向けて検討を進める。 |
| | | 地域の農産物の新たな流通ルートを検討する | — | — | — | — | | |
| | | ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める | — | — | — | — | | |
| | シーニック・ランドオペレーション機能の充実 | シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる | 情報拠点の運営 | かみふらの十勝岳観光協会 | 5月～9月 | | | 動画での情報発信を強化しており、シーニックらしいランドオペレーションのあり方を検討し、今後の活動に活用する。 |
| | | シーニック情報中枢機能を充実させる | 道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト | 大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ | 6月1日～9月30日 | 応募作品:348作品(うち学生部門2作品) | A - 3 | |
| | | 秀逸な道等に関する情報発信 | 大雪・富良野ルート | 通年 | — | A - 5 | | |

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：沿道の清掃活動ゴミゼロキャンペーンの実施

- 【概要】 上富良野町にて、国道沿道の清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」を実施した。商工会や観光協会等の地域団体、地域の企業、住民等、多数が参加し、国道・道道・町道のゴミ拾いを広範囲で実施した。
- 【日時】 上富良野：4月18日 10:30～12:00
- 【場所】 上富良野町
- 【主催】 大雪・富良野ルート運営代表者会議
- 【参加人数】 285名（主催者20名、一般参加265名）



大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：人と未来とつなぐ100年の木プロジェクト
～上川から十勝までの広域サインツリー植樹プロジェクト～

- 【概要】大雪・富良野ルートと十勝シーニックバイウェイ（全3ルート）、ガーデン街道協議会が連携して取り組んでいる「人と未来を繋ぐ100年の木プロジェクト」では、継続的に植樹した木の維持管理を実施した。令和3年6月3日・10月12日に植樹した全15箇所、55本の現地確認等を行った。維持管理の状況や今後の活動を検討するために、全体会議を令和3年11月1日に開催した。
- 【日時】総会：4月20日（帯広） 維持管理・点検：6月3日、10月5日、10月12日
全体会議：11月1日（旭川）
- 【場所】大雪・富良野ルート
- 【主催】北海道の美しい景観を育てる会
- 【参加人数】全体会議 約20名、植樹 約10名



現地確認

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト

【概要】平成25年から道北のシーニックバイウェイルートが連携し、ルート内の美しい風景や地域資源を収集することを目的に、フォトコンテストを開催。平成30年度からは学生部門を設けた。令和3年度はコロナ禍ということで、過去に撮影した作品の応募も可能とした。作品の応募は、過去最多となった。

【募集期間】6月1日～9月30日

【日時】5月13日（オンライン会議）、10月25日

【場所】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川シーニックバイウェイ

【主催】道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト実行委員会

【参加人数】全応募作品：348作品（うち学生部門2作品）



審査会の様子



※※※ 大雪・富良野ルート賞 ※※※
【春うさぎ】

撮影者：木村美紀枝

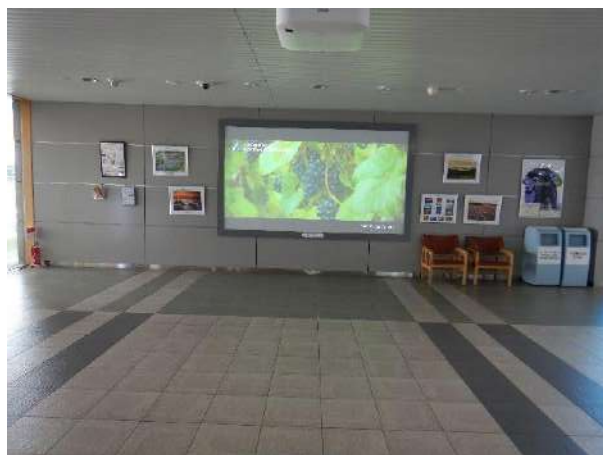
撮影地：大雪・富良野ルート 美瑛町十勝岳

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展

- 【概要】 道北シーニック連携フォトコンテスト及び大雪・ルートの風景を一般市民や旅行者にPRするために、過年度のフォトコンテスト入選作品のパネル展を実施した。令和3年度は、令和3年7月20日～8月16日に旭川空港、10月20日～11月2日に旭川地方合同庁舎アトリウム、令和4年1月6日～1月20日に旭川空港で実施した。
- 【日時】 旭川地方合同庁舎アトリウム 令和3年10月20日～11月2日
旭川空港 令和3年7月20日～8月16日、令和4年1月6日～1月20日
- 【場所】 旭川地方合同庁舎アトリウム、旭川空港
- 【主催】 大雪・富良野ルート運営行政連絡会議



旭川空港のパネル展



合同庁舎アトリウムのパネル展

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：秀逸な道等に関する情報発信

- 【概要】 国道237号深山峠が秀逸な道区間に認定を受けたこときっかけとして、シーニックバイウェイ北海道や大雪・富良野ルートの認知度を高め、周遊観光を推進するために、スマートフォンアプリやyoutubeを活用した情報発信を実施した。
- 【日時】 通年
- 【場所】 大雪・富良野ルート内 17か所
- 【主催】 大雪・富良野ルート運営行政連絡会議



秀逸な道(ジェットコースターの路)のyoutube動画



動画情報のチラシ

大雪・富良野ルート

Daisetsu/Furano Scenic Byway

活動名：秀逸な道 景観点検の実施

- 【概要】 国道237号美馬牛峠から上富良野市街地区間が秀逸な道に登録されたことを受けて、秀逸な道区間の現状を確認し、景観の課題や今後の展開を検討するために、地域と協働による景観診断を実施した。
- 【日時】 令和3年10月12日 13:00~16:20
- 【場所】 国道237号深山峠（秀逸な道区間）
- 【主催】 旭川開発建設部、大雪・富良野ルート運営行政連絡会議
- 【参加人数】 約10名



上富良野深山峠での
景観点検のようす



上富良野ジェットコースターの路での
景観点検のようす

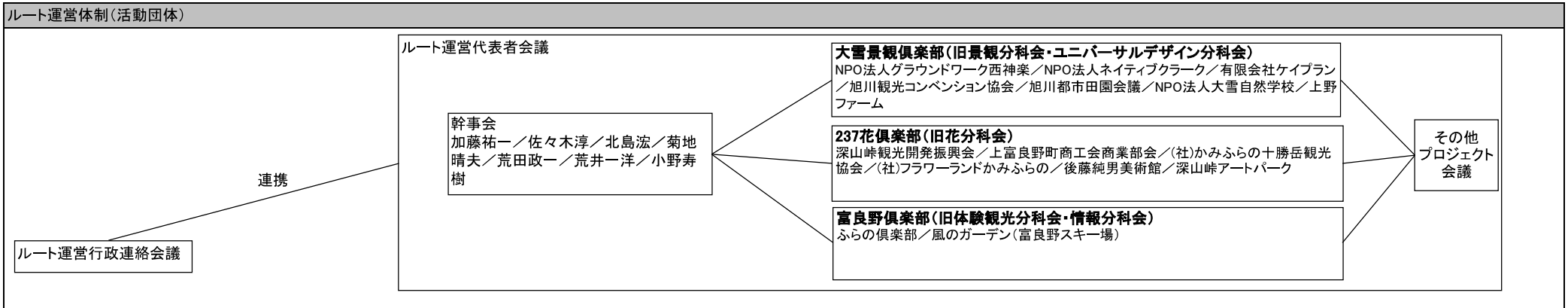


上富良野見晴台公園公衆トイレでの
景観点検のようす

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

| | | |
|------------------|-------------------------|------------------|
| ルート名称: 大雪・富良野ルート | 報告者: ルート運営代表者会議 代表 加藤祐一 | 報告年月日: 2022/3/31 |
|------------------|-------------------------|------------------|

| |
|--|
| 活動団体 |
| NPO法人グラウンドワーク西神楽/NPO法人ネイティブクラーク/深山峠観光開発振興会/上富良野町商工会商業部会/NPO法人グリーンステージ/(社)かみふらの十勝岳観光協会/(社)フラワーランドかみふらの/旭川観光コンベンション協会/旭川都市田園会議/後藤純男美術館/NPO法人大雪自然学校/上野ファーム/風のガーデン(富良野スキー場)/有限会社ケイプラン/ふらの倶楽部/深山峠アートパーク 全16団体 |



| 基本方針 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|------------------|----|-------------|-------------------|----|----|----|--------------|-------------|-----|----|----|----|---|
| ルート運営代表者会議 | | | | | | | | | | | | | 新型コロナウイルス感染拡大予防のため主にオンラインで会議を開催した。ルート代表者会議1回及び100年の木プロジェクト会議(旭川)1回、事務局会議2回は対面で開催した。 |
| 倶楽部会議(地区) | | | | | | | | | | | | | |
| 100年の木プロジェクト会議 | | ●帯広 4/20 | | | | | | ●旭川 11/1 | | | | | |
| 3ルート連携フォトコンテスト会議 | | | ●オンライン 会議 5/13 | | | | ●名寄 10/25 | | | | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|------------------|-------------------------|------------------|
| ルート名称: 大雪・富良野ルート | 報告者: ルート運営連絡会議 代表 熊谷 吉伸 | 報告年月日: 2021/3/31 |
|------------------|-------------------------|------------------|

| 基本方針 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|-------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|
| ルート運営行政連絡会議 | | | | | | | | | | | | | 行政連絡会議の開催は見送った。各自治体関係者と個別にコミュニケーションを図った。 |

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

| ルート名称:大雪・富良野ルート | | 報告者:ルート運営連絡会議 代表 熊谷 吉伸 | | | 報告年月:2022/3/31 | | |
|-----------------|-----------------------------|---|---|--|--|---|------|
| | ルート(エリア)運営活動計画方針 | 令和3年度の活動内容 | 活動実施日 | 実施機関 | 成果及び課題 | 総括 | 活動No |
| 景観づくり | 大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ | 秀逸な道における地域協働による景観点検の実施 | 通年 | 旭川開発建設部 | 国道237号美馬牛峠から上富良野市街地区間が秀逸な道に登録されたことを受けて、秀逸な道区間の現状を確認し、景観の課題や今後の展開を検討するために、地域と協働による景観診断を実施した。 | 道路行政として実施できることを積極的に推進しながら、民間企業を含めた関係機関と情報共有を図り、連携を強化する。ゴミゼロキャンペーンや100年の木プロジェクト等の既存活動については、今後も継続的に実施できるように、側面的な支援を実施する。今後は秀逸な道区間の景観保全やPR活動を積極的に行う。 | A-6 |
| | 波状丘陵地の田園景観を保全する | ゴミゼロキャンペーンへのゴミ袋や火ばさみ、ゴミ処理の支援、活動への参加 | 4月18日 | 旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・上富良野町 | 旭川開発建設部はゴミゼロキャンペーンへの協力として、ゴミ袋の提供や火ばさみの貸し出し、ゴミの処理の準備を行ったが、コロナ禍のため活動は中止となった。 | | A-1 |
| | | S&G人と未来をつなぐ100年の木プロジェクトへの参加(植樹箇所調査・検討、道路占用) | 総会:4月20日(帯広)維持管理・点検:6月3日、10月5日、10月12日 全体会議:11月1日(旭川) | 旭川開発建設部・上川総合振興局・旭川市・東神楽町・美瑛町・上富良野町・中富良野町・富良野市・南富良野町・占冠村 | 旭川開発建設部は、国道敷地への植樹については、道路占用を許可している。また、地域が実施する維持管理点検や会議に積極的に参加し、地域との連携を強化している。 | | A-2 |
| 地域づくり | 活力ある地域づくり | 地域情報ペーパーの発行・配布 | 毎月 | 上川中南部道の駅連携会議、旭川開発建設部 | 旭川開発建設部は、大雪・富良野ルートのイベント情報などをPRし、誘致を図るために上川中南部道の駅連携会議と連携して地域情報ペーパーを発行・配布した。配布先は、道の駅及び情報拠点等でドライバーに有効な情報発信の充実を図る。 | シーニックバイウェイ北海道や秀逸な道の認知度向上を目指し、情報発信を強化する。特にSNS等を活用した情報発信を強化していく。各地域が抱える課題を解決する手法としてのシーニックのあり方を検討するため、各地域の課題把握に努める。 | A-3 |
| | コリドーとしての連携や参加意識の醸成 | 「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動 | 旭川地方合同庁舎アトリウム 10月20日～11月2日 旭川空港 7月20日～8月16日、1月6日～1月20日 | 旭川開発建設部・旭川市・東神楽町 | 旭川開発建設部は、旭川地方合同庁舎アトリウム(10月20日～11月2日)、旭川空港(7月20日～8月16日、1月6日～1月20日)に、道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテストの入賞作品パネル展を実施し、たくさんの方にシーニックバイウェイの風景についてPRするとともに、ドライブ情報紙「シーニックバイウェイ」等も配布し、多くの方にSBWの取り組みをPRしている。 | | |
| | 農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり | — | — | — | — | | |
| | 地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進 | — | — | — | — | | |
| | ユニバーサルデザインの推進 | — | — | — | — | | |
| | 田園型リラクゼーション観光の充実 | — | — | — | — | | |
| 観光 | 農業と連携した観光のしくみづくり | — | — | — | — | シーニックバイウェイを観光ブランドとして育てていけるように、情報発信を強化する。また、他ルートの連携により、広域での観光振興を支援する。 | |
| | | ルートHPへのリンクを実施 | 通年 | 旭川開発建設部・上川総合振興局旭川建設管理部・旭川市・富良野市・東神楽町・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村 | 左記機関は、ルートのホームページへのリンクを、各々のホームページに掲載。ルートのホームページPRに協力した。 | | |